

実践記録

学校名 / 学年	中学校 / 3 年 /	
教科等：単元名	技術・家庭科：「Web ページ制作」	
キーワード	著作権	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☒ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	b4：情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重する。
	中目標項目番号 中目標項目内容	B4-2：著作権などの知的財産権を尊重する。
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	著作権の重要性を知り、安易な著作物の使用をしないようになる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶ Net モラル Web 版
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先（URL 等）	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶ Net モラル」

○展開

	学習活動	指導 評価
導 入	1 自分達が Web ページ作りを進めていることを確認 2 「Web ページ作りについて気をつけたいこと」を学習問題として設定	・見栄えのいい Web ページにしたいことから画像を貼り付けたいと考えている意見があることを話す。
展 開	3 映像クリップ視聴 4 ワークシート記入 5 意見発表「CD ダビングと Web ページへの画像のコピーとの違いは何か」	・「CD ダビングは個人利用に限って認められていること、Web ページは公開されることによって多くの人の目に触れ、個人利用の楽しみ方の限度を超えてしまう。そのため、著作権の問題が発生する。」ことを押さえる。
お わ り	6 ワークシート記入 7 著作権についてまとめる	著作権について、情報を正しく活用するための注意点が理解できたか。 技術の教科書 p 1 9 7（東京書籍）を使用

○授業の成果

- ・著作権という言葉は、知識としてはある程度知っているが、安易に写真やイラストを使用してしまう生徒達に、WEB ページの公開は、多くの人の目にするものであり著作権の侵害として大きな問題となることに気づいた。（ワークシートより）

○指導のポイント・留意点

- ・情報モラルについては、中学生の実態からすると、電子メールのルール等について扱うべきかもしれないが、技術家庭科の授業時数の関係から多くを扱えない。道徳あるいは学活の時間に扱っていいとよい。
PC 室で全クラスやるのは難しい。
- ・コンテンツ「わたしの Web ページ」は小 5 . 6 が対象のため、イラストがやや幼い感じがした。